



第11号

発行日 平成24年10月31日

発行元 みやぎっ子ルルブル

推進会議事務局

(宮城県教育庁教育企画室)

TEL(022)211-3616

# ルルブル通信

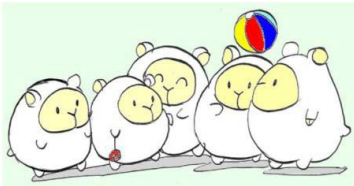
## 秋は学びの実り！親子で色々な体験をしてみよう！

### 川島教授から一言！

顧問の川島隆太東北大学教授のアドバイスを紹介します。

#### 豊富な経験が子どもの意欲向上につながります。

- ・ 「読書の秋」「スポーツの秋」と言われるように、秋は子どもたちが様々な体験をするのに適した季節です。
- ・ ルルブルの「遊ぶ」には、体を動かすことはもちろんですが、人や物、自然とかかわる体験も含まれており、子どもの頃の色々な体験は、豊かな人間性を育むための大事な土台になると考えています。
- ・ 実際に、こうした日常生活における経験が多い子どもほど、成績上位の割合が高く、なりたい職業があるなど、自分の将来についてのイメージを持っていることが実態調査でも分かっています。
- ・ 脳科学による最新の研究では、親子で体験することが子どもの脳の活性化に効果的であり、特に体験を通じて子どもを「ほめる声かけ」をすると、その瞬間、子どもの脳により強い刺激を与えることが分かりました（即時フィードバック効果と言います）。
- ・ ぜひ休日などには、本の読み聞かせや調理、スポーツなど、子どもとにできる活動をして、ほめる声かけを実践してみましょう！



### 取り組んでいます！ルルブル！

県教育委員会が行っている「みやぎっ子ルルブル紙芝居演劇」についてご紹介します。

県教育委員会では、今年度から、ルルブルの大切さをもっと多くの方に知っていただくために、幼児とその保護者を対象にした「みやぎっ子ルルブル紙芝居演劇」を県内の幼稚園・保育所等で上演する取組を行っています。

この取組は、「特定非営利活動法人 劇団 仙台小劇場」様のご協力をいただき実施しているもので、「アーリー博士とレイト怪人」と題し、親子がハラハラドキドキしながら、奇想天外・冒険活劇を観ることで、早寝・早起き・朝ごはんの大切さを学ぶことができます。

親子でご覧になられた保護者からは「早寝・早起き・朝ごはんの良いきっかけになった」「家庭での話題になった」というような声も聞かれており、今後も多くの方にご覧いただけるよう、引き続き取り組んで行くこととしています。

制作：早寝・早起き・朝ごはん実行委員会 in 宮城



紙芝居が終わったと思ったら！？なんと、紙芝居のキャラクターが飛び出し、物語が繰り広げられる、まさに「飛び出す紙芝居」！

## 平成23年度みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体 取組紹介③ (全4回)

昨年度、みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体として14の団体が表彰され、これまでその団体の主な活動内容や成果を紹介してきましたが、今回はそのうち4団体について紹介します。

### ■ 富谷町立日吉台小学校

- ・ 基本的な生活習慣の確立を学校の教育課題の一つに掲げ、ルルブル推進委員会(学校組織)を設立したほか、児童の実態調査を年2回実施し、その結果を学校だより等で報告するとともに、PTA総会等でルルブル推進の意図や具体的な進め方について、保護者に説明し協力要請を行っている。
- ・ 実態調査の結果を見ると、こうした各家庭への働きかけによる成果として、朝食をしっかりと摂り、早寝・早起きの習慣を身に付けた児童の割合が増加してきている。



### ■ 大崎市立鹿島台小学校

- ・ PTAや地域との連携を図りながら、早寝・早起き・朝ごはん運動と食育教育の推進に取り組んでおり、児童への基本的な生活習慣の意識づけを図るため「生活ふりかえりカード」への記入を行っている。
  - ・ 朝食の充実と偏食の改善を図るための実態調査では、主食とおかずといった朝食の質まで問うなど、望ましい食習慣の確立に取り組んでいる。
- ・ こうした結果、朝食を毎日食べてくる児童が増えてきた(5年生保護者アンケート93%を超える)ほか、保護者の意識の醸成につながり、父母教師会の重点取組の一つとなった。



### ■ 栗原市立畑岡小学校

- ・ 早寝・早起き・朝ごはんの状況を毎日一人一人確認し、健康観察表に記録しているほか、家庭に向けて「生活相互通信」を発行し、子どもたちの生活習慣の見直しや改善の啓発を図っている。
- ・ 毎週月曜日、「ノーゲーム・ノーテレビデー」活動を推進し、ゲームやテレビをしないで、親子で勉強したり、ふれあう日として、PTAと連携しながら年間を通じて取り組んでいる。
- ・ こうした家庭や地域と連携を図りながら取り組んだ結果、児童の生活習慣は当初に比べて着実に向上してきており、朝食をほとんど全員が食べるようになってきたほか、学校内でも外に出て元気に遊ぶ児童が増えてきている。



### ■ 南三陸町立入谷小学校

- ・ 全校を挙げた基本的な生活習慣の取組として、「入谷っ子ルルブル運動」を実施しており、全学年で「みやぎっ子!元気アップエクササイズ」に取り組んでいるほか、長期休業中に、起床や就寝時間を自主的に決め、毎日の睡眠時間を記録する「ルルブルチャレンジカード」の活用などを行っている。
- ・ PTA活動のテーマにもルルブル運動の推進を掲げており、PTA会報や学校だよりを通じた啓発活動など、学校とPTAが連携して子どもたちの生活リズムの改善に取り組んでいる。
- ・ こうした結果、体を動かすきっかけづくりや長期休業中の望ましい生活リズムの維持につながることであったほか、保護者や児童にルルブル運動の意識が定着してきている。

- みやぎっ子ルルブル推進会議では、会議の趣旨にご賛同いただける登録会員を募集しております。詳しくは、下記HP掲載の会議規約をご確認の上、[登録書様式](#)によりお申し込みください
- ルルブルに関する取組事例や情報等がありましたら、下記までご連絡ください。



担当：みやぎっ子ルルブル推進会議事務局（宮城県教育庁教育企画室）  
TEL：(022)211-3616 Email：[kyoikupp@pref.miyagi.jp](mailto:kyoikupp@pref.miyagi.jp)  
URL：<http://www.pref.miyagi.jp/kyou-kikaku/kihonteki/suisinkaigi.htm>